

株式のご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月開催
剰余金の配当基準日	12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についての問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

公 告 方 法 電子公告(<https://www.soir.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、
電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

証 券 コ ー ド 8040(東証スタンダード市場)

【単元未満株式(1～99株)の買取制度のご案内】
○お手続き方法
単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、
ご注意ください。
①証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社(口座管理機関)にお問い合わせください。
②特別口座に記録されている単元未満株式
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(特別口座の口座管理機関 兼 株主名簿
管理人)にお問い合わせください。

株式会社 東京ソワール

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12
TEL.03-4531-9881(代)

お客様相談室

お客様からいただいたお一人おひとりの声を大切に、
迅速な対応を心掛けております。いただいたご意見は、
さらにお客様に愛されるフォーマルウェアをお届け
するために商品やサービスへと反映しております。

03-4531-9880

(土・日・祝日を除く 10時～17時)

ホームページのご案内

当社の最新情報、IR情報など、情報満載のウェブサイト
です。



コーポレートサイト



<https://www.soir.co.jp>



サービスサイト



<https://soir.jp>

公式SNS

フォーマルシーンに
関する情報や新作の
お知らせなどを、いち
早く紹介しています。



Instagram
[@tokyosoir_official](#)



Facebook
[@tokyosoir](#)



第57期中間ビジネスレポート

2025年1月1日～2025年6月30日

証券コード：8040

Highlights ◆ 決算ハイライト

第57期 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)における日本経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、景気は緩やかな回復基調にあります。不安定な海外情勢の長期化や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、賃上げやインバウンド需要の拡大による個人消費の回復傾向が一部にみられるものの、前年のコロナ禍後の反動消費が一巡したことに加え、原材料及びエネルギー価格の高騰、度重なる物価上昇もあり、衣料品に対する消費者の節約志向や低価格志向が強まっており、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画に基づき、フォーマルとライフスタイルの両事業を通じて、「ウェルビーイングな商品・購入体験の拡充」の実現に向けて、「事業領域の拡大」、「事業基盤の整備」、「効率化の追求」に取り組んでおります。フォーマル事業においては、冠婚葬祭に限らない、人生の節目となる

全てのライフイベントをフォーマルライフと定義し、フォーマルライフのリーディングカンパニーを目指しており、ライフスタイル事業においては、顧客接点の拡大・新規顧客の獲得に向けて、新規出店及びサービスの拡充に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の売上高は85億85百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は3億69百万円(同2.9%減)、経常利益は4億46百万円(同2.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億4百万円(同2.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績の概要は次のとおりです。

<フォーマル事業>

卸売事業におきましては、店舗閉鎖や売場縮小などが続く中で、「t o k y o s o i r ショップ」をはじめとして、新たなお客様の開拓とフォーマルライフマーケットの拡張に向けて、従来とは異なるカテゴリーの商品提案と魅力的な売場づくりやサービスの提供を行っております。また、取引条件交渉や不採算店舗からの撤退、在庫回転率の向上など、事

業運営の効率化に継続的に取り組んでおります。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、オリジナル商品やコラボ商品の提案を通じ、お客様の想いに寄り添えるショップを目指しており、新たなお客様との接点を拡大すべく、新規出店を進めております。E コマース販売では、オフィシャルサイトにおけるマーケティングツールの活用や広告運用の効果により、堅調に売上を伸ばしております。また、オリジナルブランドを展開することで、新たな顧客層を取り込み、更なる拡大に向けて取り組んでおります。「k u r o s ’」では、各種プロモーションによる認知度向上を図り、リアル店舗での体験価値の提供とE Cサイトのサービス拡充を図ることで売上の拡大を進めております。

レンタル事業は、マーケティング施策の強化やE Cサイトの改修によるサービス拡充により堅調に売上を伸ばしており、更なる拡大に向けて業務提携などの交渉を進めております。

このような結果、当中間連結会計期間における売上高は77億35百万円(前年同期比3.8%減)、営業利

益は3億14百万円(同25.8%減)となりました。

<ライフスタイル事業>

「C A N A L J E A N」を展開する株式会社キャナルジーンにおきましては、レディースファッションを中心に、E Cサイト及びリアル店舗を運営しており、S N Sでの積極的な発信によって幅広い世代からの支持を得ております。

売れ筋商品を早期に把握することで機会損失を抑制できたこと、高単価商材が好調であったこともあり、E Cサイト及びリアル店舗共に堅調に推移しております。加えて、3月初旬に出店したルミネエスト新宿店も順調に推移しており、更なる事業拡大を進めてまいります。

このような結果、当中間連結会計期間における売上高は8億49百万円、営業利益は54百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

